

職員による自己評価

A環境面

訓練室内でも区分けを行っており、活動に必要なスペースは確保できている。

B児童への支援内容

個別療育を取り入れて実施し定期的に評価を実施している。

細かく記録を残し、継続した支援を実施できている。

コロナ禍で外での支援があまり実施できなかった。

C関係機関との連携

支援学校などは特に情報共有を行っており、児童の様子や支援について共有を行なっている。

ケース会議や地域連絡会などにも参加し、他サービスなどとも情報共有している。

D保護者への説明責任・信頼関係

連絡帳アプリを使用し、毎日写真でご報告することで、支援内容をわかりやすくお伝えできている

E非常対応

半年に一回実施し、その様子は親御さんにもお伝えしている。

保護者による評価

A環境面

- ・職員全員を把握できていない
- ・基準の広さがわからないので、十分な広さなのかどうか不明
- ・資格を持っている人がどのくらいいて誰なのかがわからない

B児童への支援内容

・コロナ禍の中で難しいことが多いと思いますが、その中でよくやってもらっている。

C事業所からの情報発信

- ・写真つき連絡帳でわかりやすい

D非常対応

特になし

事業所内での分析

【共通点】

- ・写真付き連絡帳がわかりやすい
- ・コロナ禍で以前のような活動ができなかったが、その中では工夫した支援ができていた。

【相違点】

- ・職員の資格や配置状況がわからない

分析・検討してみて…

事業所の強み

- ・ 個別訓練を提供し、細かく記録、評価した支援ができています
- ・ 写真付き連絡帳で毎日報告している
- ・ 情報発信（報告書や SNS）

事業所の改善点

- ・ 職員の専門性がわからない

事業所の改善への取り組み

職員の資格や経験を一覧にして、全利用者様に配布する。
できる限り日の職員配置状況がわかりやすいようにお伝えしていく。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

コロナ禍で面談を実施できなかったため、こういった形でご意見をいただけて改善することができると思った。

事業所名 アレッタ児童デイサービス阪東橋
担当者 齊藤 悟朗